

# 大田原通信

大田原に住んでいて「当たり前」なことが移住者にとっては「魅力」に感じられることも。この通信では、毎月1回大田原の隠れた魅力をお伝えします。

大田原市移住・定住交流サロン通信

森と人の架け橋に

## 森のハープ弾き

あくつ ひとみ  
阿久津 瞳 さん



ハープの演奏や教室、国産材を使ったハープの企画・販売を行う阿久津さん。結婚を機に大田原市へ移り住み、森に関わる活動を軸に仕事と暮らしを続けています。阿久津さんのこれまでの歩みと、大田原で感じている魅力についてお話を伺いました。

## 森に惹かれた原点と、ハープとの出会い

阿久津さんは、宇都宮大学農学部森林科学科で林業や森林について学びました。幼い頃からジブリ作品が好きで、「自然を守る仕事がしたい」という思いが進路選択の原点にあったといいます。大学卒業後は、那須にあるホテルで森林インストラクターとして働き、森を訪れる人に草花や木々の名前や特徴、人との関わりを伝える仕事をしていました。

「ご案内したお客様から、『ただの緑だった景色が、名前や物語を知ることによって違って見えるようになった』と言って頂けたことが嬉しかった」と阿久津さんは振り返ります。ハープとの出会いは、映画「借りぐらしのアリエッティ」がきっかけでした。主題歌で流れるハープの音色や演奏する姿に惹かれ、社会人になってから本格的にハープを習い始めます。

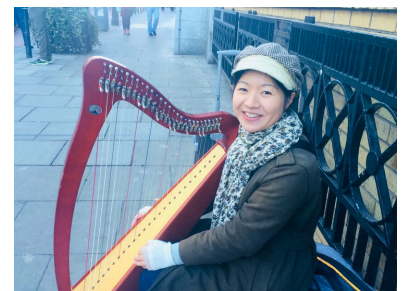


植物の魅力を丁寧に伝える、森林インストラクターとしての活動の一コマ。

## 森と音楽をつなぐ道を選んで

森林インストラクターとして働く一方で、ハープの練習を重ねていた阿久津さん。「森の話ができて、ハープも弾ける人はあまりいないのでは？」と考え、「森のハープ弾き」として活動する道を選びます。

その後、ワーキングホリデー制度を利用してアイルランドへ渡航。1年間、現地でアイリッシュハープを学びながら、ストリート演奏も経験しました。海外での生活を通して、自分は日本人であり、日本の森や木と向き合うことを大切にしたいという思いが、より強くなったといいます。



街角での演奏を通して、音楽と向き合った日々。

## 国産材ハープと、教えるという仕事

帰国後は、宇都宮市でハープ教室を開設。生徒の多くは、大人になってから新しいことに挑戦したいと考える好奇心旺盛な女性たちです。「弾きたい曲があるなら、そこから始めていい」阿久津さんのレッスンは、基礎練習から一律に始めるのではなく、一人ひとりの目的に合わせることを大切にしています。

また、森林科学を学んできた背景から、国産材を使った小型ハープの企画・販売も行っています。「日本の木で作られた楽器を通して、森や林業の現状にも関心を持ってもらえたら」と語ります。



宇都宮市のハープ教室。(上)  
初めて自作した15弦国産材ハープ。(左)

## 移住して知った、大田原という場所

結婚を機に、大田原市へ移り住んだ阿久津さん。それまであまり訪れる機会がなかった大田原ですが、暮らし始めてから印象が変わったといいます。「山が近くて、川があって、田んぼの風景が日常にある。季節の移ろいを身近に感じられる場所なんです。」新緑の時期や、水が張られた田んぼに空が映る風景は、特に気に入っているそうです。

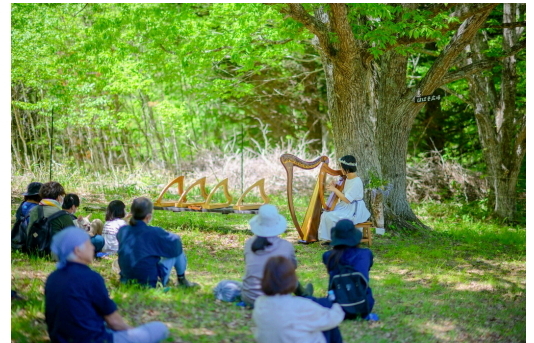
また、黒羽の歴史や文化、寺院や古い町並みなど、積み重ねられてきた時間の厚みも魅力の一つだと感じています。



大田原の里山の風景。四季の移ろいを日常の中で感じられます。

## 大田原で描く、これから

現在は、大田原黒羽教室を開き、ハープのレッスンを続けながら、大田原での活動を少しずつ広げています。森での演奏や、自然を生かした体験、森林と音楽を組み合わせた取り組みにも関心を持っています。「この地域には、森や里山、田んぼといった資源がある。それを生かした活動ができれば」そう語る阿久津さんは、大田原の自然や人と関わりながら、自分にできる形を模索しています。



森の中で開催したコンサート。自然と音楽、人がゆるやかにつながる時間。

阿久津さんの  
HPはこちら



お問合せ

大田原市の移住相談窓口

### 大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-3-1 大田原市役所A別館2階  
Tel : 0287-23-8794 (平日/9:00~17:00)  
Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp



ホームページ



Facebook



Instagram



取材した方に聞きました

### 「あなたの好きな大田原」



御亭山



大雄寺

#### お知らせ

今年度をもちまして、当サロンの吉成・林田が退任いたします。メンバーが変わりますが、大田原に移住・定住したい方をサポートして参ります。新年度もよろしくお願いたします。

大田原の暮らし、地域情報など発信中！

担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課